

おきみず 沖水地区

おおよど 大淀川とその支流である沖水川に囲まれ、扇状地と沖積低地からなる沖水地区。この地区からは、弥生時代の集落跡や平安時代の道路、豪族の屋敷跡などが見つかり、当時、この地が、水上・陸上の交通の要所であったことがうかがえます。

①宮ノ下遺跡（金田町）

弥生 古代

金田児童公園をつくる時に発掘調査を行いました。遺跡からは弥生時代の竪穴住居跡と土器や石器が見つかりました。現在、出土品の一部が沖水小学校にて展示されています。



現在の様子



弥生時代の竪穴住居跡

②大島畠田遺跡（金田町）

古代 中世 近世 p15 柱

農地を改良する時に発掘調査を行いました。遺跡からは大きな建物や池、門や柵、道路といった平安時代の豪族の屋敷跡が見つかりました。

平安時代の地方豪族の屋敷跡は珍しく平成18年に国の史跡に指定されました。

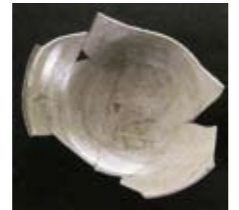
晴れた日には霧島連山が一望できます。



大島畠田遺跡から見える高千穂
(平安時代の人も見ていたのでしょう。)



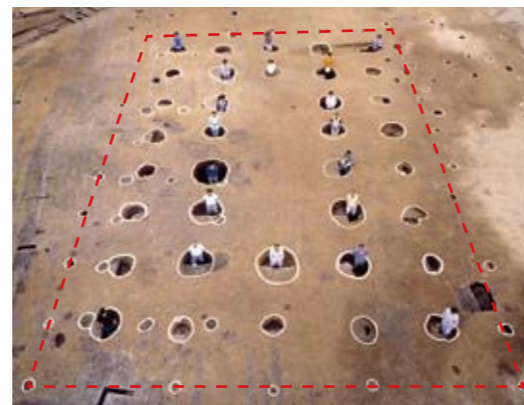
「泉」と墨で書かれている



中国でつくられたお茶碗



大島畠田遺跡の模型



大型の掘立柱建物跡

大きな柱穴の直径は1mを超える。

この建物の面積は約290㎡（畳176枚の広さ：約88坪）。

写真提供（遺物・遺構）：宮崎県埋蔵文化財センター

③並木添遺跡（高木町所在）

古代 中世 近世 p14

工業団地をつくる時に発掘調査が行われました。ここからは、平安時代の道路跡や集落の跡が見つかりました。

発見された道路の長さは約420mで、ほぼ直線状にのびていたことが分かっています。当時の主要な道路がこのあたりを通っていたことがうかがえます。

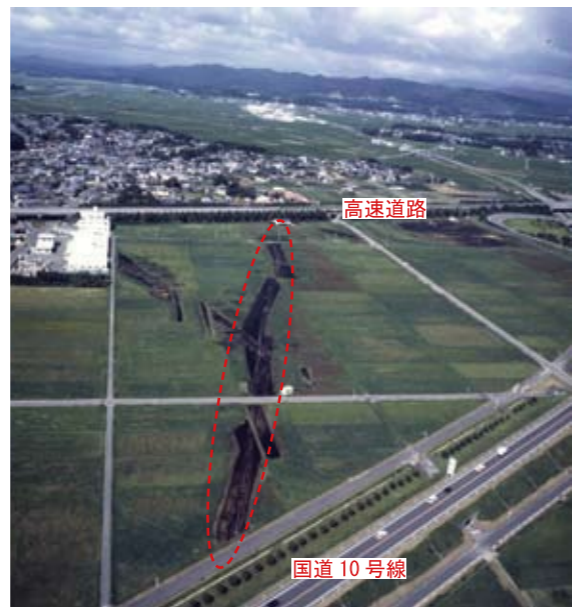


石帯

帯につける石の飾り。身分の高い人がつけるもの。裏には縫い付けられるように小さな孔があいている。



道路跡



並木添遺跡全景（赤丸内が古代の道路）



大島畠田遺跡周辺地図



並木添遺跡周辺地図



「特攻出撃の地」記念碑周辺地図



「特攻出撃の地」記念碑と説明板

【そのほかの遺跡と史跡】

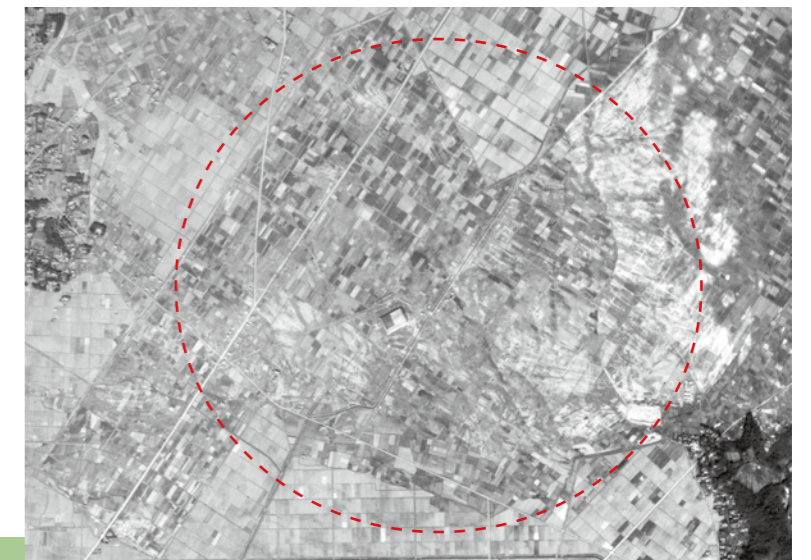
古代：新原・出口遺跡、広瀬遺跡、太郎坊中原遺跡（経塚）

中世：高木屋敷跡、岩吉田遺跡（水田跡）



④都城東飛行場跡（都北町所在）

太平洋戦争の時、都城には3つの飛行場がありました。そのうちのひとつが、現在の沖水中学校あたりにありました。この飛行場からは69名の特攻隊員が出撃していきました。現在、都城東飛行場跡地には、「特攻隊出撃の地」記念碑が建てられています。



都城東飛行場周辺航空写真（昭和22年米軍撮影）